

気賀小学校校長として、この4月に赴任しました齊藤昌長と申します。本校には平成16年度～平成21年度までの6年間勤務していました。今回11年ぶり気賀小学校に戻ってまいりました。どうぞよろしく願いたします。



さて、4月6日に始業式が行われ、新年度がスタートしました。7日の入学式では82人の新入生を迎え、令和3年度は、全校児童526人でのスタートになりました。始業式は、本来なら、気賀っ子と直接会って話をしたかったのですが、コロナ禍ということで、校長室からリモートで行いました。これから教室を回りながら子供たちと話をしていきたいと思っています。

本年度も昨年度に引き続き、校訓「真剣」に込める「ミッション・パッション・ハイテンション」の心意気を合言葉に学校経営を進めていきたいと思います。

- ミッション=使命 自分がやるべきこと、人の役に立つことを考え、
- パッション=情熱 やりとげるぞという、熱く強い気持ちで、
- ハイテンション=上機嫌 どうせやるなら、ノリノリで、楽しく取り組もう！



グランドデザインにもありますが、気賀っ子が目指す姿は、「学び合う子」「思いやる子」「たくましい子」です。

目指す子供像

思いやる子

- 思いやりの心が育ち、「ひと・もの・こと」とよりよく関わる子

学び合う子

- 主体的に学習し、学び合いをとおして、課題をよりよく解決する子

たくましい子

- 心身が健康で、進んで挑戦し、最後までやり抜く子

生きる力

相手の想いや考えが分かる

自分の想いや考えを伝える

目標をもち、工夫して取り組む

自分の良さに気付く

「学び合う子」を実現し、子供たちの学力を高めるためには、それを支える「思いやる子」と「たくましい子」の両輪の充実が欠かせません。なぜでしょうか？それは授業で確かな学力を身に付けるためには、今注目されている「見えない学力」を身に付ける必要があるからです。これは「親や教師が話す言葉の質や読書、多彩な遊び（活動）、そして、やり切らなければならないことは、おしまいまでやり切らせていくというしつけ」のことです。子供たちの学力（見える学力）を高めるためには、見えない学力を充実させることが欠かせないことを示しています。しかし、学校だけで身に付けることはできません。家庭や地域の方々と共に「全ては子供たちのために」という同一歩調で子供たちと関わっていかなくてはなりませんか。

2年間、浜松市教育委員会の研究指定を受け、昨年度末に授業研究発表会を行いました。その中で、新学習指導要領で目指す「主体的、対話的で深い学び」を展開する学び合いの授業づくりを進め、子供たちが学び合う姿や真剣に学習に取り組む姿、ICTを活用した授業などを公開し、その成果が高評価を得ることができました。本年度も、この研究を引継ぎ、より充実した気賀小教育を実現して参ります。

